

研修歯科医のメンタルヘルスに影響を及ぼす要因に関する研究

浅田，徹之介

<https://doi.org/10.15017/1470547>

出版情報：九州大学，2014，博士（歯学），課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	浅田 徹之介
論 文 名	研修歯科医のメンタルヘルスに影響を及ぼす要因に関する研究

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究では、研修歯科医のメンタルヘルスに影響する諸因子の解明を目的として、1) 研修歯科医のメンタルヘルスの経時的変化、2) 研修歯科医のメンタルヘルスに影響を及ぼす要因、3) 仕事ストレインを指標とした研修環境の評価について検討が行われた。

対象は九州大学病院における平成 23、24 年度の研修歯科医であり、メンタルヘルスに関する調査を研修開始時、3 カ月後、6 カ月後、9 カ月後、修了時の 5 回実施した。対象の内訳は、単独方式ではプログラム A1 (口腔総合診療科にて一年間研修) 39 名とプログラム A2 (4 カ月毎に専門科をローテート研修) 45 名、臨床研修施設群方式のプログラム B では B1 (前半:口腔総合診療科、後半: 出向) 20 名と B2 (前半:出向、後半:口腔総合診療科) 17 名である。調査および分析は、精神健康度調査(GHQ28)、バーンアウト調査(MBI-HSS)、職業性ストレス調査(JCQ22)、ストレス対処能力調査(SOC13)により行い、仕事ストレインは JCQ22 における仕事の要求度・仕事のコントロール得点比(D/C 比)を算出し、研修歯科医のメンタルヘルスの指標とした。

その結果、1) 研修歯科医の精神健康度は研修時期による変動を認め、早期に協力型臨床研修施設へ出向する B2 ではメンタルヘルス不良に陥りやすく、後半に協力型臨床研修施設へ出向する B1 ではメンタルヘルス不良は出向中に認めなかった。単独方式のプログラム A1 と A2 は変動を認めなかった。2) 研修歯科医のメンタルヘルスに影響を及ぼす要因は研修時期によって変化し、研修開始時では「仕事のコントロール」、3 カ月後と 6 カ月後では「同僚の支援」、9 カ月後では「仕事の要求度」が関与していた。3) 研修環境による仕事ストレインは、プログラムによって異なり、単独方式ではプログラム A1 は一年を通じて差を認めなかったが、プログラム A2 は研修開始時において高い仕事ストレイン状態にあった。群方式では、B1 は差を認めなかったが、B2 は協力型臨床研修施設への出向中に高い仕事ストレイン状態であることが明らかとなった。

本研究成果は、これまで報告の少ない研修歯科医の研修期間中のメンタルヘルスを示す貴重な基礎的データであり、研修歯科医のメンタルヘルスサポート体制を整備するための必須データでもある。よって本論文は博士(歯学)の学位授与に値する。